

区分	その他
----	-----

共 通	
件名	訪日外国人旅行者等向け交通系ICカードの買入れ (単価契約)
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	特別契約 (特命随意契約)
内 容	
【目的】 大会における大会関係者の輸送サービスとして、公共交通機関の利用に必要な交通系ICカードの買入れを行う。 【概要】 ○交通系ICカードの選定にあたっては、購入時にチャージ金額の指定が可能であり、デポジット（預り金）が不要であることなどの条件を満たす訪日外国人旅行者等向けの「Welcome Suica」を採用 【契約期間】 契約確定の日の翌日から令和7年9月30日まで	
契約方法が競争入札以外の場合の理由	
○対象製品の大口販売を行う唯一の企業である株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールスと特別契約を締結する	
契約締結前付議理由	
付議基準	
入札・契約手続き等確認結果	
所管部署	業務室宿泊輸送部宿泊輸送課 FA : Transport

契約・調達案件 個別確認表（契約手続実施前）

案件名	訪日外国人旅行者等向け交通系ICカードの買い入れ（単価契約）
契約方式	特別契約（特命随意契約）

確認の視点	確認内容	備考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	●本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	●本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営における輸送サービスの運営に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ●運営・準備等に必要な項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	●業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ●業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ●成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	●大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	●定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
公費の対象として適切なものであること	●東京の価値向上に資する大会開催に向け、必要な環境整備を行う経費であることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	●競争入札によらずその事業者以外には契約の履行ができない等の理由により特定の事業者を指定する方式が妥当であることを確認した。	

区分	その他
----	-----

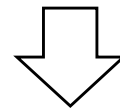
案 件 概 要

共 通	
件名	・東京2025世界陸上サプライヤー（新聞）スポンサーシップ契約 ・東京2025世界陸上競技選手権大会における新聞広告に係る業務委託（VIKに係る供給契約）
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	一般競争入札
内 容	
○協賛基準額は3,000万円とし、「新聞広告スペースの提供」を内容とする現物協賛（VIK）とする。 ○入札にあたっては、参加事業者が「現物協賛の基準」を満たす新聞広告の効果指標を提示し、最も高い指標を示した事業者を優先交渉者（落札候補者）に決定 ○入札時に優先交渉者が提示した現物出資（VIK）の供給内容に基づき、協賛基準額を契約額とする「新聞広告に係る業務委託契約（VIKに係る供給契約）」を締結する。 【スポンサーシップ契約】 カテゴリー：新聞 契約期間：契約締結日から令和7年12月21日まで 協賛基準額：30,000,000円（税抜） 【新聞広告に係る業務委託】 概要：新聞広告の掲出（協賛入札時の提示内容） 契約期間：契約締結日から令和7年10月31日まで 契約額：協賛基準額	

契約締結前付議理由	
付議基準	収入案件（スポンサー契約関係）
入札・契約手続き等確認結果	
別紙のとおり	
所管部署 業務室業務開発部業務開発課 FA：Marketing	

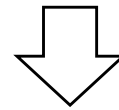
○ スポンサー契約について、以下の手順を経て、適正に審査を実施

契約・調達委員会（契約手続前） < 2/7 >
 契約・調達管理会議（契約手続前） < 2/12 >



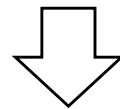
公示・希望票受付（2/13-2/20）

契約・調達会議（資格審査） < 2/25 >

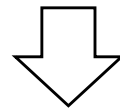


入札期間（3/3～3/6）

契約・調達委員会（契約締結前） < 3/11 >
 契約・調達管理会議（契約締結前） < 3/12 >



WA承認 < ～理事会までの間 >



財団理事会 < 3月17日(予定) >

スポンサー契約について世陸財団が審査した事項

契約・調達管理会議に先立ち、世陸財団で以下の事項について審査し、当該契約候補者（優先交渉者）と契約することを了承

審査事項	審査した内容	審査日	審査（確認）者
入札参加資格等に関する事項	■入札参加希望者について以下の点を審査 ・拠点を日本国内に有する企業、団体等の法人その他組織及び団体 ・公募を行った製品／サービスカテゴリーを事業内容とする者 ・首都圏を含む東日本エリア全域への新聞広告掲出が可能な新聞社 ・入札時に提示した入札書及び入札説明書別紙の内容により新聞広告業務委託契約を締結することに同意する者	2/7	契約・調達委員会 （事務次長、総務部長、企画部長、財務部長、業務開発部長、原澤弁護士、黒石公認会計士） 入札説明書の参加資格要件を審査
		2/25	契約・調達会議 （財務部長、総務課長、総合調整課長、予算課長、会計課長） 入札参加希望者の参加資格の有無を審査
利益相反に関する事項	■当財団の役職員における利益相反行為の対象となる取引相手となる者が入札参加希望者にいないこと	2/25	業務開発部長
入札経過等に関する事項	■入札参加者の入札内容を確認し、協賛基準額において、最も高い新聞広告効果指標を提示した者を優先交渉者（落札候補者）としていること ※ 契約・調達委員会では、2月13日の入札参加募集、2月25日の契約・調達会議での資格審査、3月7日の開札までの経過等も確認	3/7 開札	業務開発部長
		3/11	契約・調達委員会 （事務次長、総務部長、企画部長、財務部長、業務開発部長、原澤弁護士、黒石公認会計士）

収入案件 個別確認表（契約締結前）

案件名	東京2025世界陸上サプライヤー（新聞）スポンサーシップ契約
契約方式	競争入札（一般競争入札）

確認の視点	確認内容	備考
入札経過に関する事項		
入札額が適当であること	●財団にて、以下について適切な確認が行われたことを確認した。 ・入札参加者の入札内容を確認し、協賛基準額において、最も高い新聞広告効果指標を提示した	
契約候補者に関する事項		
入札参加資格を満たしていること	●財団にて、以下について適切な確認が行われたことを確認した。 ・拠点を日本国内に有する企業、団体等である ・公募を行った製品/サービスカテゴリーを事業内容としている	
欠格事由に該当しないこと	●財団にて、以下について適切な確認が行われたことを確認した。 ・破産手続、民事再生手続、会社更生手続等の申立てを受けた者でない ・東京都暴力団排除条例に規定する暴力団関係者でない ・大会のイメージが損なわれるおそれがあるなど、スポンサーとなることが適当でないと認められる者でない	
利益相反に関する事項		
利害関係がないこと	●財団にて、以下について適切な確認が行われたことを確認した。 ・当契約の意思決定に関与する財団の役職員に、契約候補者と利害関係を有する者がいない	

区分	その他
----	-----

案 件 概 要

共 通	
件名	仮設構築物等整備業務
契約主体	公益財団法人東京2025世界陸上財団
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
内 容	
【目的】 仮設構築物等におけるIBC/HBCの建設や各種電気設備の整備等を委託する。 大会開催前までの限られた期間の中で、実施設計及び施工等を実施する十分な期間を確保するため、民間企業の優れた技術を活用し、効率的かつ合理的な設計・施工の実施、工事品質の一層の向上が期待できる「設計・施工一括発注方式（DB方式）」を採用する。 【主な業務内容】 ○実施設計業務 要求水準に規定した仕様及び性能等を満たし、かつ競技大会の開催に必要な各要件を満たした設計図書の作成 ○工事施工業務 HBC・IBC工事、プラットフォーム工事、内装改修工事、その他建築工事、電気設備工事 【契約期間】 契約締結日から令和8年1月30日まで	
契 約 変 更	
○令和6年8月2日付で契約締結 契約者：株式会社電通ライブ 現契約金額：1,160百万（税込） 【理由】 ○本業務の発注後にWAによる現地視察や放送事業者のオーダー等により、整備内容や数量の変更が生じたため、契約変更を行う。 変更後契約額（概算）：1,260百万円（税込） 増額金額（概算）：100百万円 【主な変更点】 ○世界陸上の魅力を世界に発信できる環境を整備 ○放送事業者のオーダーを踏まえた整備数量の変更 より多くの放送事業者が世界陸上を放映できるよう、放送事業者からのオーダーも踏まえ、国際映像の編集等を行えるユニットハウスを可能な限り多く配置するようWAから要望があったことから設置数量を変更	
所管部署	業務室会場調整部会場整備課 FA：Infrastructure、Overlay

契約・調達案件 個別確認表（契約変更）

案件名	仮設構築物等整備業務
契約方式	競争入札（希望制指名競争入札）

確認の視点	確認内容	備 考
契約手続きの適正性		
発注組織での意思決定プロセスの手続きが適正に取られたものであること	● 本案件は、公益財団法人東京2025世界陸上財団での意思決定プロセスに沿って、事業執行の決定が行われていることを確認した。	
大会経費として妥当なものであること	● 本案件は、東京2025世界陸上競技選手権大会の準備・運営における仮設構築物等整備に係る事業であり、財団の役割に基づく業務内容であることを確認した。 ● 運営・準備等に必要項目であり、対象経費として妥当であることを確認した。	
事業執行にあたり、仕様書の内容が適切なものであること	● 業務内容が簡潔、詳細かつ正確に記載されていることを確認した。 ● 業務履行上の費用負担が明記されていることを確認した。 ● 成果品の内容、納品数、納品期限等が具体的に記載されていることを確認した。	
予算執行が適正なものであること	● 大会の準備・運営を進めていくにあたり、適正な予算執行であることを確認した。	
予定価格が妥当なものであること	● 定められた労務単価や市場価格等を参考に、予定価格を適切に算出していることを確認した。	
公費の対象として適切なものであること	● 東京の価値向上に資する大会開催に向け、必要な環境整備を行う経費であることを確認した。	
契約方式の精査・確認		
契約方式が妥当なものであること	● 契約変更が妥当であることを、原契約との同一性の確保、新規発注による弊害及び経済性の比較の観点から検証を行い、確認した。	

国際放送制作に係る負担金の支払いについて

- W A が国際放送制作に係る負担金の内容・規模などを具体的に示し、財団に提示することを W A と財団との間で約束
- 財団として、人件費や機材費の単価等の妥当性を検証
- 妥当性が確認できたため、
3 月中の適切な時期に国際放送制作に係る負担金1200万米ドルの40%を支払う予定

(参考) 支払時期について

- ドル建てで**1200万米ドル**を **3 度に分けて支払**
- 第 2 回の支払期限は 3 月で、
送金に 1 週間程度必要

EOA記載の支払期限	支払予定金額
開始予定日の [1年] 前までに [50%]	\$ 6,000,000
開始予定日の [6ヶ月] 前までに [40%]	\$ 4,800,000
開始予定日の [1週間] 前までに [10%]	\$ 1,200,000

今回

バトンプロジェクト事業実施に関する協定の締結について

■概要

- ・ 都内全小学校にリレー用バトンを寄贈することで、スポーツが持つ価値を次世代に継承する契機とするとともに、大会への子どもたちの認知や関心を高めることで、大会気運の醸成につなげていく
- ・ テレビ放送、大会アンバサダー、マスコット等を活用して、本事業を広く発信し効果的に気運醸成を図る観点から、「放送・エンゲージメントサービス」のプリンシパルサポーターである株式会社TBSと共同で本事業を実施する

■寄贈物

- ・ 東京2025世界陸上 オリジナルバトン8本セット（展示分1本、使用分7本）
- ・ アスリートアンバサダーから子供たちへのメッセージカード、メッセージ動画

■役割分担

世陸財団	TBS
① 企画、運営及びプロモーションに係る全体の統括・調整 ② レガシー創出に係る経費負担 ③ 学校に関する調整 ④ WA及び本大会パートナー等との調整	① 企画及び運営 ② 経費負担（事業に係る経費のうち財団負担を除いた経費） ③ TBSの資源を活用した気運醸成